

# ゆずりは

yuzuriha

第  
114  
号

編集・発行 令和2年1月20日

公益社団法人 柏市シルバー人材センター

〒277-0004 千葉県柏市柏下66-1

柏市保健勤労会館2階

TEL 04-7166-6681 FAX 04-7163-4150

URL <http://kashiwa-sjc.or.jp>

メール [kashiwa@sjc.ne.jp](mailto:kashiwa@sjc.ne.jp)



まもなく令和の初春（紅梅とメジロ）藤井 昭義 作

## 目次

- 2P 新年の挨拶（月川会長 / 柏市長）
- 3P 地域班会議 / 女性交流会 / 女性限定説明会
- 4P シルバー普及啓発活動 / 講習会 / シルバー学び隊 / ジョブコラム
- 5P シルバーの顔 / 安全だより / 増尾城址公園維持管理グループ
- 6P 柏ゆずりは会旅行記 / 地域班活動（田中地区、柏西地区）
- 7P 地域班活動（富勢地区） / SG会ゴルフコンペ / 視察 / イベント
- 8P 事務局からのお知らせ / 編集後記



「シルバー会員として第二の人生を」  
除草班 高橋 功 会員 ▶ P5をご覧ください!



柏市シルバー人材センター  
月川 睦  
会長からの挨拶



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は、当センターも設立40周年という節目の年にあたり、9月には記念式典の開催と記念誌の発行を予定しております。また夏には東京オリンピックも開催され、日本選手が大活躍して日本国中が盛り上がることを期待しております。

さて、シルバー人材センターは働く意欲のある高齢者の皆様に活躍の場を提供し、生きがいを持ちながら地域社会の活性化に貢献していただくという極めて意義ある組織であり、高齢化社会の進展により、その役割はますます重要となってきております。

お陰様で、当センターは、ここ数年、会員拡大と契約高増と順調に実績を伸ばすなど、大きな成長を遂げておりまして、会員数は過去最大の2,000名になろうとしています。これもひとえに、会員の皆様の日々のご努力と柏市や発注者様など関係各位のご支援があればこそと、心から感謝を申し上げます。

なお、今年は第3次基本計画の3年目で仕上げの年にあたりますが、引き続き、会員の拡大や就業先開拓を重点目標として計画の達成を目指すと共に、激変する社会の流れに対応できる新しい視点と改革の意識をもちながら役職員一丸となって業務を遂行してまいります。皆様には更なるご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆様のご健勝とご多幸、ご活躍を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本市の高齢化率は、昨年9月末現在で25.7%となっており、さらに、2025年には26.3%、2030年には27.0%と推計されており、国と同様に、高齢社会の進展が見込まれています。

また、平成26年に内閣府が実施した「高齢者の日常生活に関する意識調査」によると、現在仕事をしている60歳以上の方のうち、約8割の方が70歳以降も働き続けたいと望んでおり、さらに、約4割の方は年齢に関わらずいつまでも働きたいと回答しています。このことから、高齢者の就労環境の整備・充実は、高齢者の生きがいづくりや生涯現役社会の推進、さらに、地域の活力の維持のためにも、今後のまちづくりには不可欠であると考えております。

このような中、高齢者の活躍の場を確保・提供していただいている柏市シルバー人材センターの活動は、活力ある地域社会づくりの推進に不可欠な存在であり、引き続き、本市まちづくりにお力添えを賜りますようお願いいたします。

市といたしましては、今後ともセンターと連携を深めながら、センター事業のPRに努めるとともに、高齢者の方々が働きやすい環境づくりに取り組んでまいります。

結びに、柏市シルバー人材センターのご発展と会員の皆様のご健勝をお祈りし、年頭の挨拶といたします。

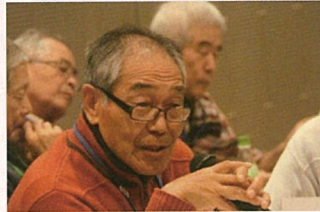


柏市長  
秋山 浩保  
柏市長からの挨拶



## ●地域班全体会議開く

令和元年度第2回地域班全体会議が12月12日(木)、アミューズ柏において開催され、各地区長はじめ班長や役員、事務局など66名が参加し活発な意見交換がされました。鳴海総務部会長の司会で”会員の誓い”唱和の後、月川会長から本日の議題につき活発な討議をとの挨拶がありました。引き続き本日の議題である「地域班活動の活性化」について審議が行われ、議題の中心である役員の高齢化と担当年数の長期化に対する今後の対応については、役員任期設定の検討や、後継者の育成と班会議の活性化など活発な提案と審議がされました。又、シルバーサロンの運営についても運営基準の検討と地域との連携についての意見交換がされました。続いて今年度上半期事業報告、事故発生状況、シルバーサロンの結果報告、女性交流会、イベント、地域班活動などについて担当役員からの報告があり、参加者からの前向きな提案と意見交換を行いました。【知久】



## ●職種別女性会員交流会開催

地区別の女性会員交流会が一巡したことを契機に、共通話題での情報交換と参加者の増加を主な目的に職種別とし、センター会議室で2回開催しました。11月1日(金)、屋内外清掃就業者を対象に会員10名と関係者計17名が参加して開催。日野部会長から女性部会の活動紹介、女性の就業率、就業先等を説明した後、会員の自己紹介で就業の様子、良かったこと、困っていることなどが話され、真面目に一生懸命取り組む姿が目につきました。質問、要望など活発に意見交換をし、中でも台風や緊急時の指示システムの徹底の要望や、「いつも綺麗にしてもらってありがとう」との発注者や利用客からの感謝の言葉が、「就業の励みになっている」「生活にめりはりが出来た」との話がありました。清掃は就業先ニーズが多い反面、希望者が

少ないという課題があるので、女性会員の就業率アップに活かせる貴重な体験談や意見の交換ができ有意義でした。11月18日(月)、近隣センター就業者を対象に会員10名と関係者計19名が参加して開催。全員で食事をしてから、1日の交流会と同様に進行了。自己紹介では、就業開始時のパソコン、プリンターの取扱、開館前に来る利用者への対応など、具体的な意見交換がされました。他センターの様子が分かり良かった、定期的に開催してなどの感想がありました。【町田】



## ●「女性限定入会説明会」を開催

柏市シルバー人材センター女性部会は、11月11日(月)、センター会議室で「女性限定入会説明会」を開催しました。始めに、挨拶に立った月川会長は「柏市シルバー人材センターの会員のうち女性会員の割合は25パーセント(484名)とまだまだ少なく、女性会員を増やして、女性の活躍の機会を拓けていきたいと思っています」と、会の狙いを述べました。そのあと、広報DVD「人生100年時代の生きがいづくりを目指して」を視聴し、参加者は、長くなったセカンドライフの設計や生きがい就労について理解を深めました。つづいて、シルバー人材センターの和田職員より、センターの概要や、センターの仕事の紹介から就業するまでの仕組み、また、女性が求められ活躍の場が拓がっている職種について説明がありました。個別面談のあと8名の参加者全員が入会手続きをして会場をあとにしました。【渡辺】



## ●シルバー普及啓発活動

本年度2回目の当センターの普及啓発活動を11月29日(金)の午前中、柏駅の東口と西口、南口で開催しました。当日は月川会長はじめ理事、広報部役員など15名が参加。厳しい寒さの中、グループに分かれて道行く高齢者にお声がけをし、チラシとティッシュをお渡しして当センターのPRをいたしました。濃いオレンジのジャンパーはひときわ目立ち道行く人の眼を引きました。啓発活動はこのようなPRに加えて会員各位の口コミが一番です。皆様のご協力もお願いいたします。【知久】



## ●仕事をはじめ高齢者を応援 「スーパーマーケット入門講習」

千葉県シルバー人材センター連合会(育成事業班)の令和元年度高齢者活躍人材確保育成事業「スーパーマーケット入門講習」が、10月28日(月)から30日(水)までの3日間、センター大会議室で開かれました。これは60歳以上の市民を対象にした無料技能講習会で、高齢者が自信をもって就業できるようにすることを目的に実施されたものです。今回は、受講希望者の中から書類選考で選ばれた4名が受講しました。1日目のカリキュラムは、「スーパーマーケットの基礎知識・業界用語」「スーパーマーケットの仕事内容(案内・販売)」。2日目は、「陳列・在庫管理・カートの整理について」「業務をする上での注意点、衛生管理、温度管理、健康管理、清掃方法、食品表示」。3日目は、「接客(基礎接客・身だしなみ等)」「クレーム対応」。3日間の講義時間は計900分に及びました。全カリキュラムに出席した受講者に連合会会長名の修了証が交付されました。【渡辺】



## ●シルバー学び隊「和おどりの会」開催

シルバー学び隊企画事業として「和おどりの会」が11月19日(火)富里近隣センターで開催されました。参加者は月川会長や初心者を含め16名の参加がありました。この会はシルバー人材センターの会員並びに柏市民の方が対象ですが、会員の今村夏雄さん、下總艶子さんに親切丁寧に教えて頂けて大変楽しい踊りの会です。今回はお二人の指導の下に「柏おどり」に始まって、盆踊りでお馴染みとなった「バハマ・ママ」や「炭鉱節」など6曲を楽しく踊っておられました。初めての方も最初は緊張顔でしたが先生の優しいご指導のもとにいつか皆さん笑顔になって時間も忘れるくらい楽しいひとときを過ごしていました。今回は二回目のレッスンでしたが今後も定期的開催予定で令和2年1月以降も通年で開催されます。初心者も大歓迎です。仲間も誘って次の盆踊り大会にはその成果をお披露目していただきたいと思います。【知久】



### ▶一緒に踊ってみませんか?

「シルバー学び隊」担当職員 / 松田(事務局)まで

普段はまず使いませんが、先日訳あって駅前からタクシーを使いました。運転手さんと世間話をしていましたら、オレオレ詐欺の話が出ました。偶然容疑者を乗せたとのことで、後日所轄の警察から捜査の協力を求められたとのことです。電話回線の中を腹黒いクロサギが舞い飛んできて、今回相当な額の被害に遭われた方がいたとのことでした。なんでそんなものに引っかかるのかと他人事に思うのが常ですが、現実はそのではありません。向こうもプロですから、自然に入り込んで、おかしいなと気が付いた時には騙されているので、後の祭りです。ジョブコーディネーターをしておりますと会員の皆様が、この詐欺対策に並々ならぬ努力をされていることがわかります。その例の一つとして、電話機を留守電モードにしていることです。相手先の名前と要件を入力させた後でなければ、通話に応じない。これなどは有効な手段の一つでしょう。通院中やお仕事他の理由で通話できないケースも中にはあると思いますが、全く無視で後刻着信を見て折り返す方もあります。ところで、何だかんだで通話できないケースが重なりますと、具体的なお仕事の打ち合わせをする中で、思わぬ時間を費やすことになることがあります。シルバー人材センターの電話番号を登録して頂き、シルバーからの着信であることをすぐに確認できるようにして頂ければ幸いです。【JC富岡】

ジョブ  
コラム

JOB column

## 「シルバー会員として 第二の人生を」

除草班 高橋 功 会員



今回は、現在シルバー会員1900人の中で13年の経験を積み、除草班の一員として活躍しておられる高橋功さんをご紹介します。

高橋さんは北海道函館のご出身で高校卒業後、東京のご親戚の要請で鉄工所の仕事に就かれました。その後大手の鉄工会社に転職、パワーシャベル、耐震装置などの製造にエンジニアとして過ごし定年を迎えられました。その間柏に転居され家庭を持ち、二人の息子さんを立派に育てられ、現在は奥様とお二人の幸せな生活を続けておられます。「人のために尽くす」定年後のしばらくの間、小学校へ通学する子供たちを見守りながら早朝通学道路に立ち安全旗を持って3年間ボランティア活動を継続しました。そしてシルバーへ入会し除草班の仕事に就いたのです。現在、除草班の作業は年間120件ほどになり(月平均10件程度)、準備と整理の片づけとの前後を合わせかなりの時間と労力を要していますが、仕上がりの評判が人気を呼び、年々要請が増えていることが感謝ですとのこと。「日々の憩いと楽しみ」故郷の函館出身の歌手の三橋美智也さんの歌を聞いて育ったためか、三橋美智也の歌が大好きで、作業の後、班の友と酒を酌み交わしカラオケを楽しむひとは疲れを忘れさせてくれます。除草は根気と辛抱を伴いますが、人が喜んでくれることを自らの喜びとする人柄に応援したいと思います。最後になりますが、除草の作業をされていて気が付くことは、最近老々介護の後、空き家になっている家屋が年々目立ちます。空き家になった家屋の火事他のトラブルも十分考えられ、この対策を早急に要するものと思われれます。【三村】

## 安全だより



安全委員会が実施するKYT(危険予知訓練)は、作業にひそむ危険要因を抽出し、更にその解決策を皆で引出し、最後に一つだけ最適な行動目標を指差呼称と共に取り上げる。

### ■危険予知訓練(KYT)とは?

1. 安全を確認するための手法
  - (1) 危険に関する情報をお互いに寄せ集め、話し合っ共有化する
  - (2) 危険のポイントと行動目標を定める
  - (3) 危険に対する感受性や問題解決能力を高める
  - (4) 要所要所で指差呼称を行うことにより、集中力を高め、安全を確認して行動する

### ■危険予知訓練(KYT)の進め方

- (1) 職場や作業の状況を描いたイラストシートを使って
- (2) 現場で、現物で、作業させたり、作業してみせたりしながら
- (3) 作業の中にひそむ“危険要因”(労働災害や事故の原因となる可能性のある不安全行動や不安全状態)とそれが引き起こす現象(事故の型)を
- (4) 職場小集団で話し合い、考え合い、分かり合って(又は一人で自問自答して)
- (5) 危険のポイントや行動目標を決定し、それを指差呼称で唱和し、確認して
- (6) 行動する前に安全を先取りする

### ■具体的には

KYTの4ラウンド学習法が基本です

- 第1ラウンド(現状把握) どんな危険がひそんでいるか
- 第2ラウンド(本質追究) これが危険のポイントだ
- 第3ラウンド(対策樹立) あなたならどうする
- 第4ラウンド(目標設定) 私たちはこうする

**「事故撲滅にはゆとりある行動、事前の準備、そして指差呼称による確認等が重要。仕事開始に当たり今一度安全意識を」**

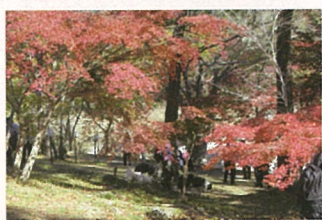
## ●子ども達の「笑顔」とともに 増尾城址公園維持管理グループ

10月4日(金)近隣の名戸ヶ谷小学校からの依頼で同校小学二年生の「笑顔一杯!名戸ヶ谷のまち」の学習で職場訪問を受けました。当初雨が心配されましたが、来園時には雨も上がり青空と一緒に子ども達の明るい笑顔を迎えることが出来ました。飯島会員の挨拶に始まり子ども達からの質問にお答えするという事で進められました。子ども達からは、施設を利用する方はどんな人?施設の内容は?仕事をしていて楽しいことは?困っていること、大変なことは? など多くの質問があり、中には「笑顔はどんな効果がありますか?」など二年生の質問としてはビックリする質問もあり六人の会員達と楽しく意見交換が出来ました。その後施設内の見学、会員の仕事の内容については器具を實際動かして見て理解して頂きました。時間が足りないくらい活発な交流がはかれ会員達にとっても有意義な一時となりました。【知久】



## ● 柏ゆずりは会親睦バス旅行

ゆずりは会(坂内マサ子代表)の親睦バス旅行が11月21日(木)、晴天、温暖の中、44名が参加し行われました。青木交通の新型バスで7時に柏駅前を出発、東京外環、関越自動車道で花園ICへ、10時20分、勉強屋駐車場に到着、2班に分かれ昼食と「月の石もみじ公園」散策。「ここに我句を留むべき月の石」高浜虚子の句碑、紅、黄、オレンジ色に染まった木々、荒川渓谷美を見てリフレッシュ。12時、「秩父銘菓の栗助本店」見物、12時50分、「秩父酒づくりの森」に到着、記念撮影、秩父錦醸造所を見物、極辛、甘口などの試飲と買物を楽しむ。バスは紅葉の山々、緑多い街並みを走って14時、「お菓子とパンの花園フォレスト」に到着、洋菓子店、和菓子店でお土産購入。帰路の花園ICからはカラオケ18曲、最後は青い山脈を合唱、「明日からまた元気に就業を、来年も親睦バス旅行でお会いしましょう」と坂内代表が締めくくり、無事柏駅到着、楽しい1日でした。【寄稿 日野良英】



## ● 地域班活動 柏西地区 合同班会議開催

11月30日(土)、柏西地区合同班会議が、出席者35名(在籍350名)で行われました。第一部は柏西地区の会員で、プロの講談師の甲斐会員が演目「鼓ヶ滝」を披露されました。西行法師が旅の途中で立ち寄った滝をもとに名句を作ったが、幻による句直しの言葉を教えられ素直な謙虚さを学ぶという誠に加えられる内容で、一同感銘を受けることができました。第二部は昼食後、センターの理事(2名)が出席し、懇談会が持たれました。各自、日頃の就業で起きた様々な問題や疑問、要望などが熱心に提案され理事との間で熱心な討議が行われました。主に会員とセンターとのコミュニケーションに関する声が多く、これからの課題として相互に検討を要するものでありました。これからの家庭は「一人暮らし」が増える傾向にあり、そのような状況でいかに快適な生活を保持していくことができるか等、会員の責任と課題は、さらに大きくなることが示されました。【三村】



## ● 地域班活動 柏西地区「秋の大堀川清掃」

10月20日(日)、台風19号の影響で予定日が変更になり、その影響から参加者が少なく当日は41名の参加であった。シルバー会員はその半数近い16名(うち女性会員2名)で全員オレンジの法被を着用し、月川会長、並びに伊藤地区長から激励の挨拶がありました。作業は大堀川に架る高田橋から新堤橋の間約3キロの土手を含む川周辺及び水中に放棄された廃棄物の拾得である。川は利根川に通じる導川として知られ幅10メートルほどの川で魚類も豊富な清澄な川であり、土手に沿って植えられた桜並木の遊歩道と共に柏の名所として知られている。当日も会員によって川から一台の自転車を拾得できたことは大きな収穫であった。しかし、公共調査によると大堀川の「河川マイクロプラスチック値(2019年6月現在で13.8)」が周辺の河川の中で最も多い数値であり、今後もこの清掃作業は大きな意義を持つものと思われる。作業は全員無事に終了し大会側でご準備いただいたランチ(お結び、お茶他)を頂き休息後ビンゴゲームを楽しみ全員がお土産の新鮮無農薬野菜を頂き、解散となりました。【三村】



## ● 地域班活動 田中地区「バンド演奏を聴く集い」

田中地区では11月10日(日)、旧吉田家住宅歴史公園広場にて51名の会員の参加を得て「バンド演奏を聴く集い」を開催しました。当日は雲ひとつ無い秋晴れの中、佐藤地区長の挨拶に次いで功労者への記念品贈呈、またお楽しみ抽選会も開催されました。演奏していただいたのは年間40回も各所で演奏活動をされている「スイングビートチーム・ヒロシ」、ポップスやジャズのほか「柏音頭」など生演奏の迫力で会員の皆様も大いに楽しんでおられました。会場となった「旧吉田住宅」は主屋・書院・新座敷・長屋門・向蔵・新倉・道具蔵・西門の8棟が国の重要文化財に指定されており、広場の奥には立派な竹林があります。その竹林の前で開催されたこの催しは参加者にとっても最高の雰囲気の中で笑顔が絶えない一日となりました。また、田中地区の融和と「ひととのふれあい」を感じることが出来ました。【知久】



## ●地域班活動 富勢地区

富勢地区(曾我部地区長)は、11月7日(木)令和元年度第7回合同班会議を参加者相互の親睦・交流と健康維持を目的に野外会場を主に開催しました。参加者は14名でした。まず、あけぼの山の布施弁天様を参拝し、健康維持祈願を行い、続いて旧吉田家歴史公園に移動し、柏市民の一般写真展を鑑賞しました。その後、「はな膳」花野井店にて昼食をとりながら会議を開催しました。議題は、本年11月～来年3月までの新地域班活動計画の検討・決定です。その後、参加者の近況報告を行うとともに自由放談会を行いました。会議は、終始和やかに楽しいものとなり、参加者皆さんは大変喜んでおりました。【富勢地区曾我部地区長】



## ●賑やかにSG会コンペ

10月21日(月)、取手桜ヶ丘ゴルフクラブにて、初参加の3名を含め総勢18名で、賑やかなコンペを開催しました。12日から13日にかけての台風19号で倒れたままの大木も見かけましたが、天候は晴れ、上空は微風、芝生の刈り込み状態も良く、ベターなプレー環境でした。飛距離が得意な人や、ワンオンの人も多く、ドラコン、ニアピン賞合戦も白熱しました。一方、池越え・川越えや、グリーン周りのバンカーが多く難しくしているのがこのコースの特徴、技能と頭脳を生かして、皆スコアメイクに挑み楽しみました。優勝を獲得したのは、飛距離、正確なショットで攻め抜き、ベスグロ賞もゲットの田邑敏夫会員。入賞や順位賞、B G、BB、DC、NP賞の表彰を行い、コーヒーなどを飲みながら、和気あいあい親睦を深めました。大勢のコンペは楽しいです。次回は5月18日の予定、元気で再会することを約束し閉会しました。

【寄稿 日野良英】



## ●松本地域シルバー人材センターが当センターを視察

11月13日(水)、長野県松本地域シルバー人材センターの役職員12名が当センターを視察研修に見えました。

全国のセンターで会員数が減少傾向にある中、双方の会員拡大策や就業開拓、イベントの実施状況等の取り組み課題等について、意見交換を行いました。



## ●シルバーイベント開催

10月6日(日)、パレット柏で「健康フォーラムinパレット柏」が開催され、柏市生涯現役促進協議会と共同で参加しました。当イベントは、多くの市民にセンターのイメージアップやPRを目的に、事業計画の地域社会への貢献に基づき開催したものです。当日は、相談窓口の設置やセンターの活動内容の写真を掲示、PR動画の放映、チラシの配布等、役職員総勢16名がオレンジ色のハッピーを纏い対応しました。10時からのミニ集会では、センター役員の鳴海理事が「シルバー人材センターで働く会員」についての講話を行いました。センターのブースは、30人以上の市民が訪れ、入会や受発注についての相談があり、大きな成果があったと思います。今後も、より多くの市民の方々にシルバー人材センターをPRできるよう、取り組んでまいります。



## 【お詫びと訂正】

令和元年10月20日発行の機関紙「ゆずりは」113号2ページの記事「新年度専門部会紹介の事業部会の構成メンバー」に誤植がありました。

(誤)「町田理事」は、正しくは「米満理事」です。

以上のように訂正し、ここに謹んでお詫び申し上げます。

広報部会長

# 事務局からのお知らせ

## ●事業実施状況報告(10月末)

		平成30年	令和元年
会員数(人)	男	1,372	1,445
	女	455	484
	計	1,827	1,929
就業実人員(人)※		1,349	1,545
就業率(%)		73.8	80.1
受注件数(件)	公共	44	45
	民間	2658	2759
契約金額(千円)		429,623	450,592

※「就業実人員」数は、請負契約及び派遣契約の就業会員の合算数値になります。

## ●作業日報の提出時の再確認(お願い)

会員、並びに受注契約件数の増加に伴い、毎月1,500名を超える就業会員の皆様から、作業日報が事務局に届きます。その中には、「会員番号」「会員氏名」「就業先名」「就業時間」「合計時間」等の記載漏れ・誤記などが大変多く見られます。事務局職員は、その確認作業に追われ、事務処理に支障をきたしております。**会員一人ひとりが、作業日報の再確認を**していただき、円滑な事務処理にご協力をお願いいたします。



## ●配分金支払日

12月分	1月27日(月)
1月分	2月25日(火)
2月分	3月25日(水)

※毎月の配分金明細書が必要な方は、事務局窓口へお越しください。

## ▼ ゆずりはクイズ Part42 ▲

- Q1 女性会員交流会で、発注者や利用者からの感謝の言葉とは何でしょうか?
  - Q2 増尾城址公園に訪れた小学生から、ビックリする質問とは何でしょうか?
  - Q3 柏西地区の大堀川の清掃で、放棄された廃棄物のほかに出てきたものは何でしょうか?
- ヒント:3面、5面、6面を見てください。

答をハガキに書いて事務局に送ってください。締め切りは2月21日(金)です。正解者の中から、抽選で素敵な品を差し上げます。ご応募をお待ちしています。  
(会員番号と氏名を忘れずに書いてください。)

◎ゆずりはクイズ Part41の正解  
Q1の答:柏市議会議長賞  
Q2の答:モッコク  
Q3の答:五街道巡り

## お知らせ

機関紙「ゆずりは」記事の取材に協力していただける会員を募集します。薄謝の支給有り。希望の方は事務局まで連絡を【広報部会担当:松田】

## センター 緊急 連絡先

# 080-1293-8569

この電話はセンター業務時間外に応答します。連絡は、緊急なことかどうかを考えてから電話をしてください。

## 編集 後記

▼新年あけましておめでとうございます ▼今年の干支は「子」です。子は本来「孳」という字で、種子の中に新しい生命がぎざし始める状態のこと ▼機関紙「ゆずりは」の紙面レイアウトを変えましたが、いかがでしょうか。ご意見・ご感想をいただければ幸いです ▼オリンピック・パラリンピックが開催されます。ラグビーワールドカップの興奮の再来が期待されます【広報部会T】